



よつば



《山形市立楯山小学校 TEL686-2006 Fax686-4183 school@tateyama-e.ymgt.ed.jp》

ほっこりあったか、ありがとう感謝の会準備ありがとう

11月21日(火)、日頃からたくさんの地域の皆様からの支えの中で生活していることを知り、お世話になっている方々に感謝の気持ちを表すことをねらいとして、「感謝の会」を行う予定でした。

日頃大変お世話になっている、交通指導員、交通指導ボランティア、防犯協会の見守りの方、読み聞かせボランティア・こんにち輪にの皆さんに感謝の気持ちを表そうと、児童会の計画委員の皆さんが主催した会です。

お手紙や花束のプレゼントをして、最後に「つばさをください」を全員合唱し感謝の気持ちを伝えられるよう準備していました。

しかしながら、今回、学年閉鎖と重なり、急遽中止となりました。会が中止になったことは残念ですが、感謝の気持ちを表すのは、この日だけではありません。日々、あいさつをはじめ、明るく元気な姿を見ていただくことが何より感謝を伝えることとなります。これからも「ありがとう」という感謝の気持ちをもって生活をしていきましょう。

今回、5年生の計画委員さん等に取材の協力をしてもらいました。

5年生はこんにち輪にと交通指導員の方々に感謝のお手紙を書きました。

5年大場安純さんは、「おもしろい本や楽しい本を読んでもらいました。日頃、あまり読まないけれど、本が好きになり興味もでてきました。ありがとうございます。」

宇治川陽大さんは、「いつも見守っていただきありがとうございます。あいさつを

してもらえると元気がでます。会釈やあいさつをし、ありがとうございますを伝えていきたいです。」

このように感謝の気持ちを込めて、手紙を書きました。あったかい手紙になりました。



高楯中学校 地域探訪 1・2年生が訪問してくれました。

11月20日、高瀬小出身の1年生と楯山小出身の2年生の班(3つ)の皆さんが楯山小学校探訪のため来校しました。楯山小出身の2年生は大岡山登山や楯山太鼓などの説明を高瀬小出身の1年生に生き生きとしていました。また、2年生の1人は昇降口あたりの賞状や写真を見て、「小学校時代、もっとがんばっておけばよかった。」と話していました。先輩の心の中からでた言葉の意味を考えてみてはどうでしょうか。貴重な言葉だと思います。

令和5年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

4月に6年生を対象に、全国学力・学習状況調査が行われ、6年生の保護者の皆様には10月にその結果と個人票を配付させていただき、お知らせいたしました。今回は概要として、学校だよりにてお知らせいたします。

全国学力調査の結果

1 全国・山形県・山形市の結果（平均正答率％）と本校との比較

	本校	山形市	山形県	全国
国語	全国平均をやや上回る	69	67	67.2
算数	全国平均をやや下回る	63	61	62.5

2 観点や問題別の特徴（○全国・県平均を大きく上回る ▲全国・県平均を下回る）

国語	<p>知識及び技能</p> <p>○漢字を文の中で正しく使う。（言葉の特徴や使い方）</p> <p>○情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。（情報の扱い方）</p> <p>▲日常よく使われる敬語の理解。（言葉の特徴や使い方）</p> <p>▲原因と結果など情報と情報との関係について理解する。（情報の扱い方）</p> <p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（読む）</p> <p>▲必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができる。（話す・聞く）</p>
算数	<p>知識及び技能</p> <p>○正方形の意味や性質について理解する。（図形）</p> <p>○高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。（図形）</p> <p>▲一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をする。（数と計算）</p> <p>▲加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる。（数と計算）</p> <p>▲台形の意味や性質について理解する。（図形）</p> <p>▲二次元の表から、条件に合う数を読み取りことができる。（データの活用）</p> <p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>○伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる。（変化と関係）</p> <p>○高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。（図形）</p> <p>○（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができる。（数と計算）</p> <p>○示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる。（数と計算）</p>

⇒本校の傾向として捉え、今後、意識して取り組んでいくこととして

国語では、敬語の使い方の定着を図るために、相手と自分との関係を意識しながらインタビューしたり、適切な敬語の使い方についてノートにまとめたりしていく。算数では、他者の考えを聞いて自分の考えと比べたり、自分の考えを深めたりする学習を普段の授業で積極的に取り組んでいき応用的な力をつけていくようにしていく。

